

## 郭沫若書跡寄贈式のお誘い

会員の皆さん:

来たる5月24日、中国社会科学院古代研究所、郭沫若記念館に対する坂田昌一先生所蔵の郭沫若書跡の寄贈式が東京にて行われます。

坂田昌一先生(1911-1970年)は、ノーベル受賞者湯川秀樹教授の愛弟子で、著名な物理学者です。1960年代東西冷戦の最中に、坂田先生は郭沫若の招聘を受けて、中国を訪問しました。196年日本学者訪中団と共に、北京で開かれたアジア・アフリカ学者会議に参加し、郭沫若をはじめ、中国社会科学院の学者たちと交流し、以来郭沫若と親交を続けてきました。しかし、1970年に病気で亡くなりました。闘病の間も幾度も郭沫若から見舞いの手紙をもらい、漢方治療の支援を受けました。この度、坂田先生のご子息坂田文彦教授は、坂田先生と郭沫若の友情を広く人々に伝えて、日中友好の証の文物を末永く保存するため、坂田先生所蔵の郭沫若の書跡4点を中国北京郭沫若記念館に寄贈することにしました。北京郭沫若記念館館長趙笑洁及び中国社会科学院古代研究所の関係者が来日し、東京都日中友好協会主催の寄贈式に参集します。

藤田はこれまで、坂田家所蔵の郭沫若の書跡や書簡の翻訳をお手伝いさせていただき、坂田先生と郭沫若の交流から多く学びました。坂田文彦教授は、日本郭沫若研究会の皆さんを式典に招待したいと要望されました。郭沫若の書跡が見られる貴重な機会と考え、ここで皆さんにお知らせします。式典の時間と会場は近日中に決定すると伺っています。追ってお知らせ致します。当日出席されたい会員は、5月5日までに藤田までお知らせいただきたく存じます。

式典日程:5月24日(金曜日)日程は近日中に決定

会場: 東京都内、会場詳細も近日中に決定します

藤田梨那、rfujita@kokushikan.ac.jp

ご出席いただける方、藤田までご一報くださいませ。

藤田梨那

4 23